

第2回協議会 協議の振り返り 〈今後の市立幼稚園の方向性について〉

資料1

視点

委員意見のまとめ

育ちの保障に
つながる
1学級あたりの
園児数・学級数

- **1学級あたり20人～30人、複数学級が望ましい。**
 - ・子ども・・・友だちから様々な影響や刺激を受けることができる。
3つ以上のグループ編成ができ、活動できるほうがよい。
 - ・教師・・・教員同士の育ち合いが期待され、保育内容に還元できる。
複数人で保育することで、いろいろな子どもに目が届く。（特別支援教育）
- **子どもの育ちを保障すること、どんな保育をしたいのかということが前提**としてあるほうがよい。

市立幼稚園の
適正配置

- **平成元年から令和2年にかけて、園児数が半減しているのに、同じ数の園があることについて、考える時期**である。園舎が老朽化しており、統合し園舎の建て替えを計画する時期ではないか。
 - ・**変化、統合することのメリット**をきちんと示し、改革を進められたらよい。
- 全国的に見ると私立幼稚園数が多い。大分県は公立幼稚園数が多いが、園児数は私立幼稚園のほうが多い。
- 一校一園制を存続してほしい。
- 地域性に配慮し、地域の保護者が困ることなく通えることができるような配置が適正ではないか。
 - ・市内すべてを同じにするのではなく、地域の特色を踏まえて様々な園があってもよい。

※別府市子ども子育て支援事業計画では、地域格差をなくし需要に対応することが望ましいとして「全市一区」としている。

保育年限

- 単年保育よりも複数年保育が、子どもの育ちを見通した教育ができる。
- **私立幼稚園や保育所へ配慮をすることを前提**として、1園でもよいので、**市立幼稚園も複数年保育（2年）をしてはどうか。**

第3回協議会 協議内容の確認 ＜質の高い就学前教育の充実について＞

資料1

＜課題＞ 特別支援教育 保育者の資質向上 幼保小連携 子育て支援

課題解決の方策

別府市子ども・子育て支援事業計画

(別府市全体の就学前の教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画)

私立幼稚園

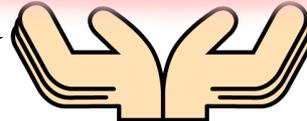
各施設の特徴を生かした
役割分担

保育所
認定こども園

市立幼稚園

園数適正化や複数年(2年)保育を検討

支援



行政

・福祉共生部子育て支援課
・教育部学校教育課

別府市全体の質の高い就学前教育の充実